

## 令和3年1月14日開催経工会幹事会議事録

1. 日時 令和3年1月14日(木) 18:30から

1. 場所 こぶし会会議室

1. 出席幹事 高木、宮元、今越、百万、野林、里見、池野

1. 議題

- ① 入会金の返金状況について
- ② 入会記念品について
- ③ 今年度の事業実施状況について
- ④ 新年度事業計画と予算について
- ⑤ その他

1. 議事の経過及び結果

定刻に至り、高木会長が開会を宣し、議事録の作成者に池野副会長を指名し議事に入った。

① 入会金の返金状況について

池野から「石原研の連絡幹事を通じて、同研究室松田亘平さんから返金希望の申し出があり、12月14日に入会金5,000円を本人へ返金し領収書を受け取った。」との報告があった。再度1月中に最終アナウンスをし、返金希望があれば1月末まで受け付けることになっている。

② 入会記念品について

今越会計から「前回幹事会で決定したトートバッグを200個購入し、トートバッグを印刷会社へ持ち込み経工会マークを印字してもらった。」との報告があった。(印字済みの見本を出席者へ回覧) 記念品の受け渡しについては、「松林先生に一括して記念品を預け、学生への配布は研究室に任せればよい。その際、学生に行きわたるように受け渡し対象の学生氏名を一覧にした受け渡し確認名簿も一緒に預け、受け取った学生は名簿に名前をサインし最終的に名簿を返却してもらうようにしたらよい。」との意見があり了承された。

このトートバッグに、しおりと会長挨拶文を印刷しクリアファイルに入れてバッグと一緒に渡すことになった。対象は、卒業予定者全員、および教員とする。記念品の配布にあたっては、PD3発表会までに受け渡し確認名簿と共に松林先生へ一括して預け、各教員から学生へ配布してもらうことに決定した。会長挨拶文を推敲したところ、学生に誤解を与えないよう入会金全額免除の理由を明確にするべきとの意見があり、入会金を奨学金に充当することとする旨を記載することに決定した。

③ 今年度の事業実施状況について

高木会長より「今年度の事業を振り返ると幹事会以外の他事業を実施した実績はないことを確認しておきたい。」との報告があった。これに対し百万監事から「この状況を踏まえて同窓会として何かできることはないか。経工会としては、たとえばホームページに研究室ごとに写真を掲載するなど活動の足跡を残してあげたいと思うがいかがか。」との意見があり、審議の結果、連絡幹事へ写真を募集し、届いた写真をホームページへ掲載することに決定した。写真の募集は、連絡幹事へメールでアナウンスをおこなう。

④ 新年度事業計画と予算について

高木会長より、「こぶし会からはまだ依頼がきていないが、新年度の事業計画と予算計画を次回幹事会までに準備して審議しておきたい。事業計画は前年度をベースとして、幹事会は10名を想定したい。」との説明があり了承された。

⑤ その他

大島弘安先生のおくやみ情報を受け、経工会ホームページに追悼文を掲載すること

を検討することになった。ひとまず宮元相談役、修学基礎・石井和克先生から追悼文を募ることとした。また、今後もホームページを最大限活用し情報発信を続けていくことを確認した。

以上をもって20:00に会は終了し、次回の幹事会は事業計画を変更し2月10日(水)18:30こぶし会会議室で開催することになった。